



中村修三 画



新春例会のお知らせ

とき 二〇〇二年
一月十九日(土)午後二時

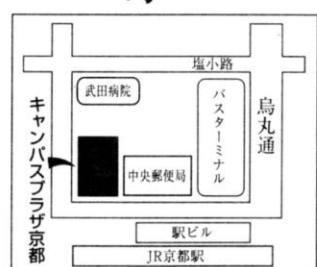
ところ キャンパスプラザ京都
第二会議室

(京都中央郵便局西側 J.R.京都駅より徒歩二分)

「テロと戦争をどう根絶するか
—米国の反テロ戦争をめぐつて—」

藤岡 悟氏

(立命館大学教授)



◆今号の目次◆
文政の一揆と丹後の民衆(三)
——江戸期の丹後ちりめん史を背景にして——
「新しい歴史教科書」とは何か
——採択を終えて——

我妻 紗範

山本 弘先生のこと

岡本 康

川戸 利一

TEL FAX ○一〇六〇一七一五七六二
加入者名 燎原社
〔事務局〕 〒六六八〇
京都市左京区高野東開町
一一二三 第三住宅
三三一三〇二 井手 幸喜
○七五七二二一三八二三三

近況報告 はがき募集
会および会報については、
新春号に皆さまの近況をハガキ
でお寄せ下さい。十二月一〇日く
らいまでにいただければ幸いです。
おたがいに健在を確認したいもの
です。

新春号に皆さまの近況をハガキ
でお寄せ下さい。十二月一〇日く
らいまでにいただければ幸いです。
おたがいに健在を確認したいもの
です。

(郵便振替払込口座番号)

○一〇六〇一七一五七六二
加入者名 燎原社
〔事務局〕 〒六六八〇
京都市左京区高野東開町
一一二三 第三住宅
三三一三〇二 井手 幸喜
○七五七二二一三八二三三

編集委員会より

世界貿易センタービルへのテロ
攻撃があると、米国大統領は「戦
争だ」と宣言し、いまアフガニス
タンをめぐって実際に戦火がおこ
っています。テロはもちろん許さ
れません。しかしすぐに戦争に走
つていいくものでしようか。いわん
や日本の参戦法・自衛隊の海外派
遣をや。今こそ近代史の教訓を思
いあえすべき時でしょう。

新春には藤岡さんにお願ひして、
当面する情勢を正面から語つてい
ただくことにしました。皆さんも
秋の例会を見送ったかわりに、
おさそい合わせて、思いのだけを
語り合つて下さい。

山本 弘 先生のこと

岡本 康

病院オープンに

左京区の田中野神町に開業して、いた安井信雄先生は、患者さんが早朝からあふれかえる状況を変え、地域の民主勢力の要望も受け入れ医院を病院に改組することを決意。

昭和三十年七月十一日、新装なつた病院を田中飛鳥井町にオープンしました。病院には、新中国から帰国されたばかりの山本先生も、勇躍参加されました。山本弘先生が、病院創立に参加されたのは、安井信雄院長と山本先生の長兄が同級生だったという間柄だけでなく、二人の、革新的な思想が一致していたことと、実社会での豊富な経験が共有されていたからです。病院は民医連に加盟、民主的集団医療の旗を高く掲げ発足しました。

京都学連事件で

山本さんの名前が始めて社会に知れ渡ったのは、昭和八年六月二十一日の大阪朝日新聞の号外によつてでした。その号外には、山本

さんのスマートな学生写真とともに、「京都を中心とする赤化運動覆滅さる。関係者四〇一名を検挙! 所詮「九・三事件の全貌」と大きい活字が踊っていました。号外には、大阪市長の息子さんの京大生の関さんも、日本共産党に寄付していましたと、仰々しく載っていました。治安維持法下の時代には共産党への寄付は犯罪にされていたのです。

昭和七年九月三日の国際無産青年デーに、関西の進歩的な学生たちは共産党の呼びかけにこたえ、

生協づくりが犯罪

山本さんが逮捕されたのは、昭和七年九月三日の国際無産青年デーに、関西の進歩的な学生たちは共産党の呼びかけにこたえ、

山本さんは、京大恐慌で生活苦にあえぐ学生たちに、安い生活物資を供給するための消費生活協同組合を、京都大学に組織する日本共産党の活動家としてマーケット、反戦デーを期に逮捕したのです。

同時に、先に「不屈紙」へ紹介した峠一夫全日本民医連副会長や、保健婦でアイヌ民族出身を誇りにしていた「桟敷よしこ」さん（故人）なども捕らえられています。

こうした民主主義的な運動を敵視し、天皇の威光をふりかざして

した當時の支配階級は、特高警察に命じ治安維持法違反の名による弾圧に乗り出し弱冠二十二歳の医学生、山本弘さんも首謀者の一人違反として逮捕したのです。

しかも天皇制警察は、逮捕事実を一年もかくし、六月二十一日に記事を解禁、号外で、学生たちの平和運動を、反体制の行動と敵視し、大々的に報じたのです。治安

維持法などの悪法がない今日では、想像もできない警察の横暴な情報操作による報道でした。

当時の支配者たちの念頭には、国民の人権などは全くなかつたのです。逮捕された四〇〇名近い学生は、京大、同志社、立命館、京女、大阪医大的学生でしたが、京府警に一斉に逮捕されていたのです。

暮らしに困り、安い図書、安い学用品や生活物資を求めるようになつたのです。そこへ京大に生活協同組合を組織してくらしを守ろうといふ呼びかけがあつたのですから歓迎されました。生協の出店もでき、山本弘さんらの地道な学生が活動はじめたので、店は繁盛し、進歩的な学生も手弁当で、消費生協運動に積極的に協力「一人が万人のために、万人が一人のために」の方針とスローガンを掲げ運動をひろげました。

運動には学生ばかりか、市民や労働者のなかにも共鳴者もひろがりました。こうした民主主義的な運動を敵視し、天皇の威光をふりかざしていた當時の支配階級は、特高警察に命じ治安維持法違反の名による弾圧に乗り出し弱冠二十二歳の医学生、山本弘さんも首謀者の一人として逮捕しました。

消費生活協同組合の活動が京都で活発になつたのは、昭和大恐慌により、当時の学生の両親の多くが、生活上の打撃を受け、仕送りに困り、仕送りがどこおるようになつたからでした。このため学生も

このとき逮捕された学生に、出町駅そばで耳鼻科を開業されていました稻田素臣さんもいました。山本さんも稻田さんも中京区で開業されていました医師の子息という共通の

境遇でした。正義感の強いご両親たちは糾放運動をくりひろげ、同情した世論のひろがりも功をそそうし、山本さんは比較的早く出獄、京都大学に復学したのです。

中国（「満州」）に

山本さんは、昭和十四年三月京大を無事卒業。小児科に入局後、三ヶ月後に日本の植民地にされたいた中国大連の日赤病院に派遣されました。民族差別などの視点をもたない医師としての山本医師は、日本人ばかりでなく、多くの中国人にも信頼され敬愛されました。

日本帝国主義が崩壊した昭和二十年八月十五日、中国にも人民解放の旗が公然とひるがえり始めました。支配階級として君臨し、中國人民を奴隸視していた日本の高級官僚や將軍の一部は、逸早く、自分の財産を船や、飛行機に積み日本に逃げ帰つたのです。

こうした人間の屑どもとちがう山本医師は、すぐれた技術者として、中国人から尊敬され「ぜひ新中国のために残留し協力してほしい」と懇請されました。

山本先生は、この懇請をプロレタリア・ヒューマニズムの立場か

ら快諾し、それからの二年間、日本人居留民組合の病院と中国人の病院とを、かけもちして日夜働きぬかれたのです。

中国残留を決意

昭和二二年二月、新しい日本に生まれ変わると大きく揺れ動いている祖国からの情報に帰国を決心、四歳の長女、二歳の長男、一週間前に誕生した次男と、奥さんとともに、大連で帰国船に乗り込んだのです。

いよいよ船が出発というとき、息せき切つて中国人の代表が飛び込んできて先生に面談を申し入れ、「日本人居留組合がつくった病院に、医師がいなくなると困ると、も帰国を延期し残つて欲しい」と今、大騒動になつてゐる」「どうか先生、日本人や新中国のために

船中で必死に懇請されたのです。

中国人の代表のあとに、かけつけた、日本人居留民代表たちの痛切な訴えに、意を決した先生は家族を船中に残し、別れの言葉も交わさず、決然と下船されてしまつたのです。

中国残留を決意した先生の自己犠牲の人道行為に胸が打たれます。

しかし夫に突然、乳飲み子から荷物まで押し付けられ、帰国するごとに夫の労苦は想像を絶するものだつたのです。満員の帰国列車の中から、やつとの思いでたどり着いた京都駅でご夫人は窓から下車で

きましたが、危うく次男を取り残す慌しさだつたそうです。

帰国後、政府からなにひとつ生

活の面倒をみてくれなかつたなかで、ご夫人の労苦もなみのもので

はありませんでした。

中国に残留された先生は、間もなく勃發した朝鮮戦争のために中

國の方針によつて大連から旅順へ、そして奥地の重慶へと、中国各地の病院に転々とされました。

先生はどこでも親切に、新中国の医師たちに技術指導をされ、身

を持つて真の日中友好・國際主義を実践されたのです。

帰国された先生は安井病院の発展に身を粉にして働かれ、日中友好協会京都府連会長や、京都子どもを守る会左京支部長、朱い実保育園理事などの民主運動にも積極的に寄与されました。

昭和三六年、医療体制が困難になつた川端診療所の所長もひきうけ、戦前の苦難のなかでつちかわれた楽天的で温かい人格が地域の信頼をふやし、川端診療所再建の起動力となられました。

昭和四六年、享年六一歳の若さでこの世を去られました。

（おかもと やすし

治安維持法同盟京都府本部）

文政の一揆と丹後の民衆（三）

—江戸期の丹後ちりめん史を背景にして—

川戸 利一

文政の百姓一揆

宮津藩主となつた本庄宗発は十一代将軍家斉のもとで桜田門勤番役につくと、五代将軍綱吉の母「桂昌院」の縁故にあたることを利用

して、立身出世のために家斉や老

宮津藩は、藩主宗発の榮達に必

中に賄賂をくり返し、田舎大名にすぎない身分でありながら寺社奉行へと異例の昇進を遂げた。その後も出世のための賄賂を送り続けた。

要な多額の賄賂のため、織機の運上金とちりめんの御米料を厳しく取り立てる一方で、年貢の三分の一は銀納として収穫前の正月から十二月までの月割り分納で先払いとする「おづけ米先納御用金」として納めさせ、年貢の先納六千石の追徴を命じた。

さらに藩の財政をあづかる御勝手頭取沢辺淡右衛門は、一日三文の人頭税である万人講を新たに作り、これを毎月集めるよう庄屋に申し渡した。万人講は「男女七拾才以上之者」とし、「七才以下之者、常病人並ニ愚成者、狂癩之者都合七千五百七拾三人」を対象に「一万式千六百五拾三人」を除く「五日百五拾九百式拾九文、一ヶ月平均式拾九日半ト見積り、四千六百五拾八貫九百五拾五文」を取りたてるものであった。

庄屋たちは、藩のたびかさなる税の取り立てに戸惑いをみせ、藩の申し渡しに従うことをしぶつた。御勝手頭取沢辺は庄屋や組頭の様子を見て大庄屋と相談し、一日三文の万人講を一日二文とし、取り立てた税百文について八文を役得として庄屋に与えることで納得させ、文政五年（一八二二）の正月

から実施に移した。

その年の八月、武家屋敷に出入りしていた石川村の百姓吉田為次郎は、藩士関川權兵衛の口から万人講が決まつたいきさつと、百姓が血のにじむ思いで収めた税の一部を庄屋が役得としてふところにいれている事実を聞き、この話を従兄弟の吉田新兵衛に話したことから、またたく間に領内の百姓にしれわたり、万人講や先納に苦しむ百姓たちの怒りをかつた。万人講は領内百二十カ所のすべての村落で一揆に走る下地となっていた。

万人講の事実を百姓たちが知つてから四ヵ月後の十二月十三日の夜、石川と山田の村堺の河原で合図の火が焚かれると、三河内村や宮津の愛宕山でも火の手が上がり、加悦谷一帯はにわかに騒然としてきた。あちこちから斧・がんどう・かけやなどをもつた百姓たちが集まり始め、数百人の数になると山田村に押し寄せ、鬨の声を挙げて歩き出した。藩と結託してヤミ機で暴利をむさぼり、丹後の三領が結束して取引改善を京都の問屋に申し入れたとき、結束を破つて丹後産地を苦境に立たせ、万人講では総元締めとして百姓や機屋を苦しめてきた大地主であり政商の千賀八郎助への恨みを今こそ晴ら

小長谷宅を引き上げ石川村に向かった。途中辻堂付近で新たに加勢した百姓たちを加えて体勢をとどめ、酒屋から酒を運ばせ握り飯を用意させて腹ごしらえをした後、次ぎ切り倒して豪邸の屋根は崩れんばかりに傾き、土蔵・酒蔵・稻蔵を襲つて諸帳簿や証文などを持つたように屋敷になだれ込み、瞬く間に大庄屋をたきつぶした。そのあと、石川村の庄屋八郎兵衛宅に押入り打ちこわしをおこなつた。

深夜を迎えていたにもかかわらず百姓たちの数は益々増えて数千人にふくれ上がり、一層意氣盛ん

になつた。誰言うとなく「元締めをつぶせ！次は千賀だ！」と叫ぶ百姓たちは手に手に打ちこわしの道具をもつて万人講の元締めである千賀八郎助の住む岩滝村をめざして一里半の夜道を地鳴りをたてて歩き出した。藩と結託してヤミ機で暴利をむさぼり、丹後の三領に入するとの噂にそなえて、城下に入る東の波路、南の松原、西の犬の堂に防護の陣を張り、文殊の渡し舟の使用を禁じる措置をとつた。

一方、加悦谷の百姓数千人が立ち上がって石川、山田の大庄屋を襲い、万人講の総元締めである岩滝の千賀を打ちこわしたことが、そうと大群衆は気負う心を抑えて

またたく間に領内に伝わり、百姓

燎原

たちの決起をうながした。

十四日の夕暮れから上宮津方面

が騒がしくなり、加佐郡から蜂起

してきた百姓たちと一緒にになって

勢力をまし、今福村の庄屋を打ち

こわし南に備えた松原の防衛の陣

を打ち破つて城下に入った。栗田

で立ち上がつた百姓たちも峰を越

えて村々で合流し、皆原村、波路

村、新宮村の庄屋を次ぎ次ぎ打ち

こわして東の防衛を突破して城下

に侵入した。加悦谷で蜂起した百

姓たちは夕刻から再び結集して勢

いを増し、日置で決起した百姓た

ちと合流して宮津城下をめざした。

藩は防衛陣が破られ東と南から

百姓たちが城下に侵入したことに驚き、大手門などを弓・鉄砲・大筒でかため、西の入り口である犬の堂に新たな手勢を送つて陣地を死守するよう命じた。

百姓たちは、犬の堂で防衛の役

人と睨み合いを続けていたが、夕闇が深まるとき番人屋敷に火を放ち、

火の手が上ると割り木に火をつけ相手陣地に投げ入れ、投石を繰り返した。守備を固めていた役人たちはこれに耐え切れず城内に退

散したため、百姓たちは犬の堂を突破して城下になだれ込んだ。

城下に入つた数万の百姓たちは、藩と結託して肥え太つた政商、名主、手組などを次ぎ次ぎ襲つて打ちこわし、政商などが急遽隠した

家財道具や糸、ちりめん、証文などを町人からの通報で摘発して打ちこわし焼き捨てた。百姓たちの一揆は終日続き、捕手役人をみて

も恐れることなく「温かに着て飽くまで食い、日銭を掛けて百姓供

を苦しめる鬼畜沢辺淡右衛門、蓑笠被せて鋤鍬持たせ百姓の味ひ知らせ申さん」などと大声で訴え続

けた。

城内では收拾策について堂々巡

りの評定が続いたが、百姓に信望の厚い中老栗原理右衛門をたて、

の堂に新たな手勢を送つて陣地を死守するよう命じた。

百姓たちは夕刻から再び結集して勢

いを増し、日置で決起した百姓た

ちと合流して宮津城下をめざした。

藩は防衛陣が破られ東と南から

百姓たちは城下に侵入したことに驚き、大手門などを弓・鉄砲・大筒でかため、西の入り口である犬の堂に新たな手勢を送つて陣地を死守するよう命じた。

百姓たちは、犬の堂で防衛の役

人と睨み合いを続けていたが、夕闇が深まるとき番人屋敷に火を放ち、

火の手が上ると割り木に火をつけ相手陣地に投げ入れ、投石を繰り返した。守備を固めていた役人たちはこれに耐え切れず城内に退

徒党の吟味致さず」との達しがあ

り、今回の騒動で召し捕られた百

姓七人の釈放も聞き届けられた。

家老との約束は正式な書き付け

にして村々に手渡すの返答を得て、

もようやくおさまった。

願いのかなつた百姓たちは、十

六日の暮から城下を引き上げるこ

とになった。引き上げるにあたつて、一言の挨拶のない錦屋利助の

屋敷に抗議に押しかけたところ、

押しかけた百姓に番人が縄をかけたため、静まつていた百姓たちは

再び激高し、「藩と結託して百姓を苦しめてきた庄屋や名主たちは

何の反省もしていない」と口々に叫んで錦屋を打ちこわし、帰途に

ついてからも須津村で出世庄屋や手組の家をとりつぶした。

夜に入った百姓たちは藩の言いなりになつて百姓を苦しめた庄屋

の打ち壊しを申し合わせた。百姓たちは二手に分かれて大内峰と平

治峰を越え、中郡七力村と竹野郡二十二カ村を回り、新たに加わつた百姓たちの加勢を得て、庄屋や

手組三十軒を打ちこわし十八日の朝一揆はおさまった。

江戸屋敷にいる藩主宗発は、領

内の百姓が困窮していたことや、

取り調べる意向が城下に伝わり緊

張がはしつた。

義民新兵衛たちと丹後の民衆

きしたお布令

一、万人講日餉の廃止

一、一万五千俵の先納の取りやめ

一、飢餓手当として米千俵の難

民への給付

一、召し捕られた七人の御赦免

が村々に届けられた。

百姓たちの願いはことごとく実現したのである。

を減じて蟄居、沢辺に協力した松

山源五右衛門、飯原鎮平、古森乙

藏の御役御免とした。

栗原理右衛門は勝手に百姓を鎮め
る布令をだした咎で息子の百助
と入牢が申し付けられた。

新しい藩体制のもとで、栗原理
右衛門が百姓に約束したお布令は
見直され、一揆を首謀した百姓の
探索が命じられた。

藩は領内に密偵を放ち一揆を計
画した百姓の内偵を始めた。藩を
搖るがす大事件を引き起こしたの
は加悦谷の百姓たちと睨み、役人
を派遣して捕縛にてた。

文政六年（一八二三）二月十五
日夕刻、石川村奥山の新兵衛宅に
役人が押し入り、新兵衛に縄をかけた。同じ日、奥山の為治郎、重
右衛門も捕えられた。

家老有本は、栗原理右衛門と交
わした約束をホゴにし、一揆を起
こした百姓の取り締まりを始めた
ことが一夜のうちに領内を駆け巡
り領民に伝わった。

翌日も早朝から、奥山の元蔵や
元右衛門、宮津の長五郎らが捕ら
えられ、後ろ手に縛られて城下に
連行された。沿道では窓越しや遠
くから手を合わせ涙を浮かべて見

送る百姓たちの姿があった。

その後も捕縛は続き、捕らえた

百姓への厳しい取り調べが続いた。

年の瀬が迫るころ捕らえた百姓の

数は四十人を越え、詮議のすえ入
牢中の者は十三人にのぼつた。

年が明けても捕縛は止まず、厳
しい詮議が続いた。新兵衛と為次
郎は手加減をしない吟味ににもか
かわらず、一揆の計画や首謀者を

自白せずに拷問に耐えている同志
の心労に心を痛め、名乗り出て仲
間を救うことを決意した。

新兵衛と為次郎の申し出によつ
て詮議は大詰めを迎えた。新兵衛
と為次郎は手段を選ばぬ取り調べ
を受けても、一揆に協力した百姓
や計画のことは何一つ明かさなか
つた。

老中有元はこれ以上詮議を繰り
返しても自白させることはできな
いと悟り、文政七年（一八二四）
四月二十二日、一揆に対するお仕
置きを命じた。

中心になつて一揆を計画した為
次郎は獄門、新兵衛を討首とし、
牢死した奥山の元蔵と宮津の長五
郎は永牢、嫌疑の消えない宮津の
元右衛門と友次郎、石川村の儀三
郎、九平、徳蔵、太三郎を所払で

御国追放とした。藩は結束の強い
百姓の反発を懸念して、罪家内御
構い無しとして家族へのお仕置き

を免じた。

その日、新兵衛と為次郎は犬の
堂に引き出され、百姓や町衆の見
守るなかで処刑された。新兵衛三
十五歳、為次郎三十一歳であった。

百姓と町衆は手を合わせて二人の
冥福を祈つた。

為次郎に藩の内情を語つて一揆
の原因をつくった藩士関川権兵衛
に切腹が申し渡された。

一揆の一件が落着しても、入牢
中の栗原理右衛門と百助のご赦免
はなかつた。百助は文武に秀で、
牢中にあつても折り目正しく学問
を怠ることがなかつた。

百助はかねてから江戸表に赴き、
百姓一揆の真相を城主の若殿宗秀
に言上しようと考えていた。この

ことを知つた囚獄番の足軽は百助
の脱獄を手引きし、文政九年（一
八二六）二月江戸に向かわせた。
領内で手あつく匿われた百助は舟
で田辺領に上がり、若狭をへて宮
津藩の飛領である近江の野州郡守
山に向かつた。

百助が守山についたとき、すで
に藩から知らせが届き待ち構えて
いた追つ手に行く手を阻まれた。
西光寺の住職に遺書を預け自害し
て果てた。文政一揆の真相は江戸
表に伝わることはなかつた。

百助は身動きできないと悟り、
守山では後難を恐れて匿う者もな
かつた。

百助は身動きできないと悟り、
西光寺の住職に遺書を預け自害し
て果てた。文政一揆の真相は江戸
表に伝わることはなかつた。

（かわと としかず
弥栄町 退職高校教員）

「新しい歴史教科書」とは何か

—採択を終えて—

我妻 秀範

一、教科書採択を終えて

八月十五日の終戦の日、都道府

県教育委員会はこの日までに二〇

〇二年四月から小中学校で使用す

る教科書の採択状況を文部科学省

に報告し、すべての採択事務が終

了しました。その結果、国公立中

学校の採択地区（五四二地区）す

べて「新しい歴史教科書をつくる会」（以下、「つくる会」）の歴史・

公民教科書は採択されませんでした。

たが、残念ながら東京都と愛知県

教育委員会が養護学校と聾学校の

一部といくつかの私立中学校（歴

史・公民ともに採択した学校は六

校、公民は二校）で採択されてし

ました。

しかし、「つくる会」が目標にして

きた採択率一〇%（約十四万冊）

どころか、全体で〇、四%（五〇

〇〇冊）をはるかに下回るものと

思われます。今回の採択結果は、

つくる会の意図をほぼ完全に封じ

るものとなりました。この間、つ

くる会教科書不採択に向けてご協力をおいた皆さんに心から感謝いたしました。

また、韓国政府から二十五項目、

中国政府から八項目もの「誤りと

謝を申し上げます。

二、つくる会教科書とは？

今年四月、文部科学省はつくる

会教科書に対して一三七ヶ所もの

修正意見をつけたうえで検定合格

としました。これに対して、国内

外から厳しい批判が出され、「つ

くる会教科書を採択させてはなら

ない」という世論と運動が急速に

広がりました。

しかし、修正されたとはいえ、

その危険なねらいと本音はほとん

ど変わらないどころか、部分的に

はいつそう記述が悪くなっています。

これに対して四月末に歴史学

者七氏が近現代史部分で五十一項

目の「事実の誤り」を指摘して修

正を求め、さらに歴史学研究会や

日本史研究会など日本を代表する

歴史学会二十数団体が記述の間違

いを指摘するなど、つくる会教科

書の杜撰な内容が明らかにされました。

また、韓国政府から二十五項目、

中国政府から八項目もの「誤りと

歪曲」に対する再修正要求が出されました。日本政府の回答はほとんどゼロに等しいもので、両国をはじめアジア諸国民の心をいつ傷つけるものとなりました。

これを契機に日本政府に対する激しい抗議行動が展開されたことは衆知の通りです。

ところで、「つくる会教科書とはどのようなものなのでしょうか。

以下、その特徴と問題点を簡単に紹介しましょう。

第一に、アジア太平洋戦争（教

科書では「大東亜戦争」と記述）

はアジア解放に役立った戦争であ

り自衛のための戦争であつたなど

と、歴史の事実を歪め戦争を美化

していることです。ここには従軍慰安婦や日本軍による残虐行為に

関する記述はありませんし、南京事件も事実そのものを疑問視する

記述となっています。このように、

つくる会教科書にはアジア太平洋

戦争が侵略戦争であつたという認

識や植民地支配に対する反省はど

こにありません。

第二に、神話があたかも史実で

あるかのように記述していること

です。イザナギ命、イザナミ命か

ない日本国憲法の「特異性」を際

だたせようとしています。

第三は、大日本帝国憲法と教育勅語を高く評価していることです。とくに、教育勅語についてはこれまで実に九ページにもわたって神話を掲載しています。これは神話と歴史的事実を意図的に混同させるものです。

第三は、大日本帝国憲法と教育勅語を高く評価していることです。

とくに、教育勅語についてはこれまで実に九ページにもわたって神話を掲載しています。これは神話と歴史的事実を意図的に混同させるものです。

第五は、自衛隊の問題です。公民教科書の口絵ページでは、阪神大震災と自衛隊、国連の混乱と限界、主権国家と日本人、大国日本の役割にかかわって自衛隊の意義と役割を強調しています。これらは、国際緊張を過大に描き、今日の世界の問題を解決するためには軍隊（自衛隊）が必要だということを強調するためのものです。

最後に、つくる会教科書がアジア太平洋戦争は「正しかった」とする一方で、日本兵が死を恐れず勇敢に戦った（沖縄戦では「鉄血勤皇隊の少年やひめゆり部隊の少女たちまでが勇敢に戦つて」と記述）ことを強調していることです。死を美化することはいのちを大切にし、いのちを育てる教育といふ當みとはまったく相容れないものです。

三、つくる会教科書――そのねらい

いと本質

以上、つくる会教科書の特徴と問題を列挙しましたが、ここからこの教科書の危険なねらいが明らかになります。それは日本は憲法を改正して軍隊をもつべきである、日本は自国の安全と財産を守るために戦争ができる国になる

必要がある、国民にはそれに協力し進んで参加する義務と心構えが必要だ、戦争で死ぬことを恐れてはならないというものです。（東京大学教授）は『道徳教育』誌上で「戦争で人を殺すことは殺人ではない」とまで言い切っています。このことは、憲法・教育基本法改正の動きや首相の靖国神社への参拝、有事立法制定の策動と一緒にものであり、新ガイドライン体制を担う人づくりをめざしたものであります。ですから、つくる会はけつして突出した一部の動きではなく、反動勢力と一体になつて執拗に運動を展開していること。したがつて、つくる会教科書を單なる教育内容の問題という狭い枠の中によどめてしまうことは攻撃の本質を見誤ることになります。

また、侵略戦争と植民地支配の肯定、自国の「誇り」の強調はアジア蔑視と一体のものとなつています。それは日本が各国に表明してきた国際的な約束に反するだけでなく、子どもたちに正しい歴史認識や国際的な感覚を育てること

や日本人に対する国際的な信頼を損なうものになりかねません。今回の採択結果がアジアに対し必要だ、戦争で死ぬことを恐れてはならないというものです。（実際、執筆者でもある藤岡信勝（東京大学教授）は『道徳教育』誌上で「戦争で人を殺すことは殺人ではない」とまで言い切っています。）

このことは、憲法・教育基本法改正の動きや首相の靖国神社への参拝、有事立法制定の策動と一緒にものであり、新ガイドライン体制を担う人づくりをめざしたものであります。そこには、つくる会が攻撃を断念したわけではありません。つくる会は八月十六日に行つた記者会見で「首に縄をつけて教育委員会を水辺に連れていったけれど、水を飲まなかつた」（西尾幹二会長）の中によどめてしまうことは攻撃の本質を見誤ることになります。

前述のように、今回はつくる会教科書がほとんど採択されなかつたとはいえ、つくる会が攻撃を断念したわけではありません。つくる会は八月十六日に行つた記者会見で「首に縄をつけて教育委員会を水辺に連れていったけれど、水を飲まなかつた」（西尾幹二会長）の中によどめてしまうことは攻撃の本質を見誤ることになります。

改悪された採択制度の問題も重要なことです。つくる会は自民党と一体になつて教科書採択から教科書を実際に使用する教員の関与を排除するよう執拗な攻撃を行つてきました

ことも指摘しなければなりません。したがつて、今後はつくる会教科書批判だけでなく、現行教科書に対する批判的検討と教科書制度の抜本的な改善の取り組みが今まで以上に重要になつてきます。

採択された教科書にもさまざまな問題があります。この間、つくる会は「現在の歴史教科書は自虐

（わがつひでのり

子どもと教科書京都ネット21）